

- 文化センターと文化会館の現状と課題解決の取り組みについて
- 文化センター駐車場利便性向上の具体的な調査研究状況と今後の見通しについて
- 安政遠足事業の規模拡大の可能性と検討状況等について
- 安政遠足の新年度の実施可否の決定時期と周知について
- 小学校施設整備事業で修繕や入替を行う遊具の選定経緯と今後の見通しについて
- 各小学校への修繕料の配分基準等について
- 小中学校のコンピューター設備の実情と格差対策について
- 子どもの夢応援事業の概要と今後の取り組みについて
- 体育施設の整備状況と芝生化について
- スポーツセンターのアリーナのスピーカー利用について
- 準要保護児童に対する入学支度金の支給時期について

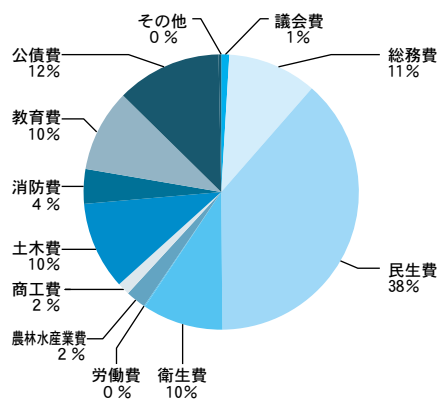
【公債費】

●市債の今後の見通しについて

【諸支出金】

●土地購入の理由と詳細について

一般会計歳出の割合



一般会計歳入

- ごみ処分手数料の増額理由等について
- 入湯税の減額理由と課税免除について
- 企業版ふるさと納税の概要と税額控除の金額等について
- 企業版ふるさと納税の受け入れ態勢について
- スポーツセンター使用料の減免の要件等について
- 千客万来支援事業費補助金を活用する事業の内容等について
- 地方交付税の増額理由について
- 財政調整基金の運用について
- 市民税と固定資産税の状況等について

一般会計反対討論

地方創生という声とは裏腹に、地方自治体の基幹的税収である法人市民税の法人税割を大幅に削減することは、言語道断です。昨年は大幅に伸びた法人市民税は、17・1%減の見通しですが、法人税割の配分率の減が大きく影響しています。個人市民税は勤労者の所得が伸びず、市民の暮らしが厳しいことを物語っています。

国民には消費税を増税しておいで、輸出戻し税などで大企業には大きな税が還元され、ますます格差と貧困が広がる社会が拡大することは明らかです。今こそ消費税をはじめ住民減税こそ必要です。

街中商店街の疲弊は深刻です。小売店舗、スーパーが消え、飲食店が消え、さらには金融機関さえも地域から姿を消しています。

市街地の活性化対策と、空き店舗対策をはじめ抜本的な対策が急務です。人口減少があらゆる市民生活に影響を及ぼし、市民の願いに応えた予算案とは言えません。

一般会計賛成討論

令和2年度一般会計予算は、歳入では、市税において、市民税法人税割のさらなる税率引下げの影響により減額となる一方で、地方消費税交付金や地方交付税は増額が見込まれています。また、市債の発行は抑制しており、健全な財政運営に努めているものと捉えています。

歳入においては、市民の安全安心に目を向けた施策を展開するとともに、地域のにぎわいを創生する事業にも力を注ぐものとなっております。成果については今後に期待するところであります。

今後は、より一層の事務の簡素化や組織機構のスリム化と合わせて、予算の執行においては、事務事業の費用対効果、必要性等を徹底的に検証し、所期の目的を果した事業は廃止するなど、これまでに以上に経費の削減を行い、健全な財政運営に努め、市民サービスの向上に努力されることを要望します。